

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年10月19日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年10月19日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機原子炉関係制御盤の警報用電源装置の不具合について】</p> <p>当直員が、6号機中央制御室にて原子炉関係制御盤の警報テストを実施したところ、発生していた警報の一部が消灯したことを確認。</p> <p>警報の消灯と同時に、原子炉関係制御盤の警報用電源喪失を知らせる警報の発生を確認。</p> <p>当該警報用電源装置を確認したところ、電源の状態を示す赤ランプが消灯していることから、警報用電源装置の故障と推定。</p> <p>現在運用していない系統の警報用電源装置と交換を実施し、原子炉関係制御盤の警報窓が点灯したこと、および、原子炉関係制御盤の警報用電源喪失を知らせる警報の復帰を確認。</p>	GⅢ	10月14日
2	<p>【淡水化装置(RO3)の熱風発生装置の入口ダクト損傷について】</p> <p>当社社員が、凍結防止対策として淡水化装置(RO3)の熱風発生装置の運転モードを「送風」から「熱風」へ切り替えるため、事前に現場を確認したところ、熱風発生装置4台のうち2台の入口ダクトの一部に損傷があることを確認。</p> <p>当該装置の運転モードを「送風」から「停止」へ切替を実施。</p> <p>外観点検に異常がない2台は、運転モードを「送風」から「熱風」への切替を実施し、運転状態に異常がないことを確認。</p> <p>今後、損傷箇所を修理予定。</p>	GⅢ	10月15日
3	<p>【1号機常用高台炉注水ポンプ(A)の吐出流量計の指示不良について】</p> <p>当直員が、パトロール中に1号機常用高台炉注水ポンプ(A)の吐出流量計の指示が、当該ポンプが停止中にもかかわらず約2.5m<sup>3</sup>/hを指示していることを確認。</p> <p>当該流量計を打診しても指示に変化なし。</p> <p>常用高台炉注水ポンプ運転時における流量監視は、他の流量計による監視が可能なため、設備機能上問題なし。</p> <p>今後、当該流量計を点検予定。</p>	GⅢ	10月17日
4	<p>【3号機燃料取扱設備(クレーン)の日常点検における警報発生について】</p> <p>協力企業作業員が、3号機燃料取扱設備(クレーン)の日常点検において、無負荷による主巻巻き上げ操作中に「ロープ破断」の警報が発生し、動作が停止したことを確認。</p> <p>ワイヤーロープの破断等、外観確認に異常がないことから、「ロープ破断」の誤検知と推定。</p> <p>今後、詳細調査を実施予定。</p>	GⅢ	10月14日